

## 31-0697 W1-3

金銀花の抗アレルギープロモーター作用 (第2報)

○小川 優子<sup>1</sup>, 奥 尚枝<sup>1</sup>, 石黒 京子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>武庫川女大薬)

【目的】先に, 我々はアレルギー発症予防物質の探索を目的とした新規アッセイ法を用い, 金銀花 (*Lonicera japonica* Thunb. の花蕾) の 35% EtOH エキスの H<sub>2</sub>O 画分に, 顕著なアレルギー予防活性を見出し, その活性成分の一つとしてクロロゲン酸を報告した. また, その活性メカニズムが iNOS, COX-2 発現抑制及び TXA<sub>2</sub> 抑制による血小板凝集抑制であることを示した. 今回は, 新たにイリドイド画分にも活性を認めたので成分及びメカニズムの解明を行った.

【方法】生物活性試験: 前報と同様に ddY 系雄性マウスを卵白リゾチームで感作し, 感作日から 9 日目まで, マウスの尾部静脈微小循環の血流量を無麻酔下, レーザー血流計を用いて測定し, 徐々に低下する血流量を control とした. これに対し, エキス (100 mg/kg) または化合物 (10 mg/kg) を投与した場合の血流量の変化を比較した. 血小板凝集抑制活性は, 感作後 9 日のマウスの眼底静脈叢から採血し, ADP で惹起する全血血小板凝集能を WBA analyzer を用いて測定した. 成分の単離: 上記薬理活性を指標として各種カラムクロマトによる精製を繰り返し行い, 3 種類のイリドイド配糖体 **1**~**3** を単離した.

【結果・考察】化合物 **1**~**3** は本植物から既に単離されている loganin(**1**), sweroside(**2**), secoxyloganin(**3**) と同定した. **1** 及び **2** は血流低下を有意に抑制し, これらイリドイド配糖体も金銀花の活性成分であることを明らかにした. 感作段階での血流低下には NO, COX, TXA<sub>2</sub>, PGI<sub>2</sub>, 血小板凝集などが関与するが, **1** 及び **2** は血小板凝集を抑制しなかったことから, 前報のクロロゲン酸と異なるメカニズムによりアレルギー発症を抑制しているものと考えられる. 現在, **1** 及び **2** の NO 及び COX への作用について検討中である.